

# BLOSSOM-LITE-

no.17

1, 十全の守護を学ぼう

2, ちょこつとぎゃらりい。

asahijoshiseinen

# 親神様の十全の守護を学ぼう

## いざなぎのみこと

男雛形 種の理

### 〈男雛形〉

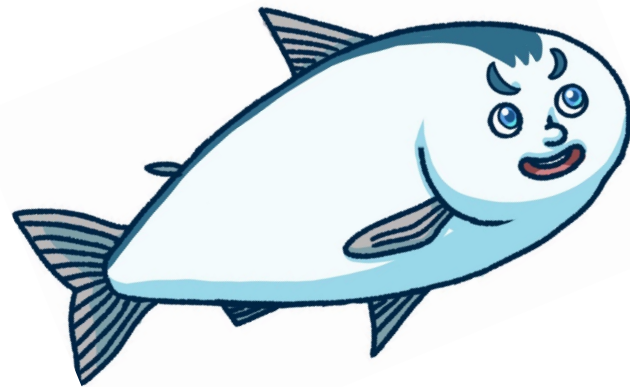
元初まりにおいて、親神様は夫婦の雛形にしようと「うを」と「み」を引き寄せられました。その「うを」に、男一の道具および骨つっぱりの道具として「しゃち」（月よみのみこと）を仕込んで男雛形と定め、「いざなぎのみこと」の神名を授けられました。

### 〈種の理〉

「種」は元となるものです。

植物では、めしべにおしべの花粉がついて種ができ、その種が土の中で芽を出し草木に成長します。

また人間の場合も、精子と卵子が結びついて、また新しい生命が創り出されます。



私たちの普段の心の使い方や行動はすべて親神様が受け取って、それを種とし、銘々にふさわしい姿をご守護くださいます。良い種を蒔けば、良い芽が出て良い結果が現れてきます。

毎日ありがたいなあという喜びの種を蒔く。

人に喜んでもらいたいなあ、たすかってもらいたいなあという真実の種を蒔く。神様の思いに沿う心と行動が良い種まきとなります。毎日の暮らしの中には、楽しい時もつらい時もあります。けれども、その状況に振り回されず、自ら良い環境を作り出す努力をし、良い種をしっかりと育てていきましょう。

# いざなみのみこと

女雛形 苗代の理

## 〈女雛形〉

元初まりにおいて、親神様は夫婦の雛形にしようと「うを」と「み」を引き寄せられました。その「み」に、女一の道具および皮つなぎの道具として「かめ」（くにさづちのみこと）を仕込んで女雛形と定め、「いざなみのみこと」の神名を授けられました。

## 〈苗代の理〉

「苗代」とは種粃を蒔く場所です。日本で米を育てる場合、苗代に粃を蒔き、適度な大きさに成長してから田んぼに移します。種粃の命が芽生え育つためには、水と温度と栄養が豊かな苗代が必要です。

赤ちゃんの命は、お母さんのお腹の羊水に守られ、適度な温度や栄養で育まれて、時満ちて生まれ出てきます。さらに、子供の成長には、その育っていく環境がとても大切です。



親神様は、私たち人間が互いにたすけ合う陽気ぐらしの世界を望まれて、この世と人間をお創めになりました。

そこで最初にされたのは、夫婦の雛形をつくることです。その元初まりの夫婦が一手一つにたすけ合う働きによって、陽気ぐらし世界の歩みが始まりました。

このよのぢいとてんとをかたどりて  
ふうふをこしらへきたるでな

これハこのよのはじめだし（みかぐらうた 第二節）

夫と妻が補い合いたすけ合うことが陽気ぐらしへの土台であり、家庭や社会、世界が治まる元ともなると教えられています。



# ちょこっとぎやらりい。



カメラマン:sekisanphoto

みなさんこんにちは♪ちょこっとぎやらりい。のお時間です🌸  
秋になり、朝は少し肌寒くなってきましたね^^  
秋と言えば、「食欲の秋」「読書の秋」・・・いろいろな秋が  
ありますが、みなさんはどんな秋をお過ごしでしょうか？  
私は「食欲の秋」ひとまわり成長した気がします😅  
季節の変わり目、体調がコロコロ変わる時期ですので、お気を  
つけてお過ごしください♪  
それではまた。。。